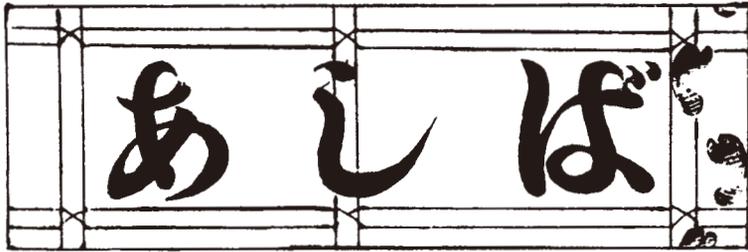


以下の日程は組合事務所の通常業務をおこないませんのでご注意ください！

書記局会議：8月1日(火)
夏季休業：8月14日・15日(月・火)
小金井平和盆踊り：8月18日(金) 午後～



第524号

発行所
東京土建一般労働組合
小金井国分寺支部
国分寺市東恋ヶ窪 2-36-32
電話 042-324-5940
発行責任者
高橋 勇一

命の綱 土建国保を守るため

予算獲得の運動にご協力を

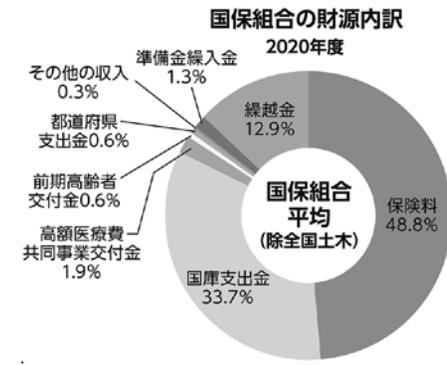
誰でもできる社会保障運動

本来、社会保障は、憲法25条「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」の規定に基づき、すべての国民が等しく享受できなければなりません。建設国保の予算獲得運動は、皆保険制度の下で、すべての国民に公的負担の増大で社会保障拡充を図らせるための運動です。



大久保社保対部長

私たちにとって一番の不安は、病気のケガで倒れてしまうことです。屋外労働など厳しい就労環境で働く建設従事者に合わせた保健事業を展開する建設国保は、私たちの仕事と暮らしの実態に最も即した医療保険であり、まさに「命の綱」



受けよう！特定健診(40歳以上) 健診受診が補助金増額のカギ

6月18日につるかめクリ ニックとひかり診療所で実施した日曜健診には、153人が受診しました。

小金井市の燃料費補助の陳情は、2023年3月議会で全会一致で採択されました。しかし、6月市議会の議案には、燃料費補助の記載がないことがわかり、市の経済課に問い合わせたところ「今回は討議しません」とのことでした。このままでは実施されない可能性があるため、小金井市内の建設業団体に連絡し、燃料費補助創設にむけ協力をお願いをし、各団体の建設団体も早期創設を望

燃料費補助の早期実現を もう待たない 市長に強く要請

「議会が尊重されていない」、「9月まで待つ訳にはいかない」など、力強く訴えてもらいました。市長は「遅くとも9月定例会までには示したい」と回答がありました。組合では引き続き要求実現に向け運動していきます。

仲間のみなさん 熱中症にご注意



【小西分会・村田 文夫】 たいま7月中旬頃、真夏の真っ最中です。熱中症予防には十分に気を付けたいと思います。猛暑の時は無理をしないで、28度以下の日陰で過ごしたいと思えます。こまめな水分・塩分補給が取れるよう飲み物を持ち歩きたい。涼しい服装や帽子をかぶりたいです。

インボイス制度中止求め 「インボイス全国一揆」に二千五百人

10月からの導入が狙われているインボイス制度の中止を求めるアクションが6月14日に「インボイス全国一揆」と題して全国20カ所(正門前を除き1000人)で、国会正門前には1500人、合計2500人で連帯し「増税もう無理！」とアピールしました。東京土

健康診断は平日でも希望の医療機関(2023年度国保ガイド参照)で予約できます。また、11月には日曜健康診断を再び行いますので、多くの組合員・家族のみなさんの受診をお願いします。



幸運の山桜

【国①分会・兒林美智子】 山の家(1000m) 点に着いたのは4月29日。山桜は満開。5月6日窓から外を眺めると山桜はピンクから

朝顔

▼コロナ過で広がった世界の付加価値税の減税は、ロシアのウクライナ侵略による物価高騰から、生活や事業を守る取り組みへと発展しています。世界的に物価高騰が続くもと、インフレの影響は各国でも深刻です。そうした中、世界103の国・地域では消費税にあたる付加価値税を減税し国民の負担軽減を図っています。一方、岸田政権は消費税減税を求める国民の願いを拒否し続けています▼消費税導入から35年、税率は10%まで引き上げられた一方、法人税や所得税は減税され消費税収はその穴埋めに回されてきました。国民の苦しい生活をよそに「大企業・富裕層」優遇、財界の儲け最優先」という政治のゆがみが表れていきます。こうした不公平な税制を正せば消費税減税や廃止は実現できるはずですが10月に実施すべきはインボイス制度では無く消費税5%への減税です。消費税を減税した国は経済の活力も消費も落ち込む事はありませんでした。消費税率引下げは消費を促します。消費が上がれば中小・零細企業にも仕事が回り売上げが伸びます▼日本は20年以上賃金が上がらず消費税率は上がり続け更にインボイス制度も入れれば大打撃です。▼まだ間に合います。今を必死で生きる人達の未来を閉ざさず、税制を皆で変えましょう。

篠ちゃん 散歩

～梅雨の晴れ間にアジサイ求め～



ハケの地形に沿って並んで咲くアジサイ

【国①分会・篠崎 弘】アジサイの花を求めて、梅雨の晴れ間にのんびりと歩いてみようかと思っ

6月18日(日)に、国立駅で降り、南口から府中駅

行ききのバスに乗る。谷保駅を過ぎ谷保天神というバス停で降りて、谷保天満宮へ入る。たいていの神社は高いところに社殿があるものだが、ここは逆で、石段を下りた低いところに社殿がある。

ハケ下の静かな境内には、天神様につきものの牛の像や合格祈願の鈴なりの絵馬がある。社殿の裏には湧水があり、その水が池になり、その中央の島に厳島神社が祀られている。段になった地形に沿って、アジサイの花が並んで咲いている。ハケと水を集めた用水路に沿って歩く。甲州街道から入ったところ、こ

ハケ上の道をしばらく進むと、くにたち郷土文化館に寄った。文化館の裏手に南養寺がある。寺の参道を出ると、またにぎやかな甲州街道に出る。

我が街国分寺のPFAS汚染について

～いまここで起きている事～①



現在、我々の暮らしの重大な問題は山積みの状態ですが、深刻な問題がいくつもあります。その中のひとつが我が街国分寺市で現在進行形で起きている問題、「PFAS(有機フッ素化合物)問題」です。

今、この街で何が起こっているのでしょうか?

国分寺は「水の街」なのに

【国④分会・小阪 昌義】

環境省により全国各地の湧水・河川の中から選定された「名水100選」にお鷹の道・真姿の池湧水群があります。しかし、この水は飲めません。たとえ加熱処理をしたとしても...

水道としては2018年以降利用されていません。

PFASとは「有機フッ素化合物」といい、最も多く使用されてきたのがPFOSとPFOAの2物質です。これらは体内に蓄積される

PFASは、高濃度だと人体に有害な可能性があると考えられています。多摩地域で水道水に利用していた井戸水からPFASが検出された問題で、6月8日、多摩地域の650人を対象とした血液検査の結果が公表されました。650人の内訳は男性215人、女性4

PFASって何者?

野の道があることが信じられないくらいだ。

国立三中と浄水場の間の田んぼにカルガモが泳いでいるのを景観し、すぐ西には小高い森がある。城山である。ここも武蔵野段丘の斜面にとり残された森で、ハケとはいかなる地形かを見たりするには実に良い場所である。

のびやかな公園で遊んでいる親子たちを眺めて休んでいると、子供たちが「こんにちは」と声をかけられて気分が良かった。

ハケ上の道をしばらく進むと、くにたち郷土文化館に寄った。文化館の裏手に南養寺がある。寺の参道を出ると、またにぎやかな甲州街道に出る。

周辺住民の血液検査結果

と分解されにくい「永遠の化学物質」と呼ばれ、第二のダイオキシン」とも呼ばれています。過去には主に石油系火災の泡消火剤などに多用されました。現在は発がん物質等の原因物質として世界的に使用が禁止され、代替物質が使われていますが、これらについても毒性と難分解性が指摘されています。

35人、平均年齢は66.8歳でした。検査の結果、ほぼすべての人からPFASが検出されました。

アメリカでは、PFASの一種PFOS・PFOAなどの合計値が1mlあたり20ng(ナノグラム)を超えた人に対し、健康被害のリスクが高いとして特別の注意を払うよう勧められています。今回650人の半数以上にあたる335人

2t以上貨物自動車をお持ちの事業者は、注意を

労働安全衛生規則の一部改正により、昇降設備の設置と保護帽の着用が必要な貨物自動車の範囲が現行の5t以上から2t以上に拡大します(2023年10月1日)。

建設の事業所でも労働者の安全を確保するためにこの規則の順守が求められます。また、テールゲートリフターによる荷役作業時の操作についての特別教育が2024年2月1日から義務化されます。組合内外での受講開催または案内を検討します。

【前原分会・小山 豊行】「スタート」の合図により全車エンジンを始動させ、轟音を残し一斉にバイクが走り出します。しかし、私のバイクはエンジンが始動しません。轟音の余韻残るスタートラインに取り残されました。走り出したバイクの塊たちは遙か前です。必死になってキックペダルを踏み込むと、ギューン、とエンジン始動。急い

【書記・星 清志】6月25日をもって退職となりました。私は、23歳で東京土建に入局し、本部に異動したのが2011年でした。その後、2020年4月より支部に戻り、最初の2年間は主任書記として任に当たりました。本部での業務と違い、

6月号 まちがいがしの回答

①左上のホルドの大きさ ②クライミングしている人の左脚のスバツの長さ ③その人のパンツのスリット ④その人のパーカーのポケット ⑤その人の口の下のライン

同じ目標を持った仲間の団結 大きな成果生み出す原動力

着順は上でした。性能の良いバイクでも、それを使いこなす技量がなければ何も意味のないことを実感しました。

私以外にも仲間4人がレースに出場しましたが、結果は全員予選落ちでした。しかし、予選落ちにも関わらず、みんな予選通過したのと同様の達成感でした。私自身レースに出場できなかったのは、チームを作りあげた仲間のおかげだと思っています。同じ目標を持った仲間が団結することで、目

支部では何とかやっているというのが現実でした。周りの書記に尋ねながら、最後までお付き合い頂きました。また、支部四役・常任・執行委員の皆さんとは何でも言い合える関係で楽しかったです。

私は、23歳で東京土建に入局し、本部に異動したのが2011年でした。その後、2020年4月より支部に戻り、最初の2年間は主任書記として任に当たりました。本部での業務と違い、

星さんお疲れさまでした 42年の書記人生を全う

特に巻田幸正さんには、支部でも本部でも大変お世話になりました。また、故

とに確信を持っています。そして、「誰のため、何のため」の運動か、具体的な提案力」についてマネジメントを発揮できる皆さんに期待をしています。

最後に、42年間という長い年月お世話になった組合員とご家族の皆さん、そして元書記局の皆さん、大勢の方々に改めてお礼申し上げます。

終わりに、故・佐藤省子さんに改めてご冥福をお祈り申し上げます。

菊池郁朗さんは岩手から何度も訪れ励ましてくれました。ALS難病で頑張っている佐々木公一さんは支部最高現勢1820人支部を実現させてくれました。

支部に戻り、約3年という期間でしたが、新しい役員の方ともいろいろと話ができました。本当にお世話になりました。そしてありがとうございます。

小山豊行さん

仲間の思い出

同じ目標を持った仲間の団結 大きな成果生み出す原動力

着順は上でした。性能の良いバイクでも、それを使いこなす技量がなければ何も意味のないことを実感しました。

私以外にも仲間4人がレースに出場しましたが、結果は全員予選落ちでした。しかし、予選落ちにも関わらず、みんな予選通過したのと同様の達成感でした。私自身レースに出場できなかったのは、チームを作りあげた仲間のおかげだと思っています。同じ目標を持った仲間が団結することで、目